

校長室だより

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



日本福祉大学附属高校 2019年4月8日

新学期スタート 挑戦の1年に！

4月6日、美浜町長・教育長や中学の校長先生、学園関係では理事長・学園長・学長・各学部長・高大同窓会長・PTA会長などのご出席をいただき、第62回入学式が挙行されました。第一部（式典）では校長式辞・来賓祝辞の後、2人の新入生が決意を述べてくれました。第二部（新入生を励ます会）では、2年生による合唱やクイズで新入生を祝いました。続いて教員が入学式定番の「たんぼぼ」他1曲を合唱、学年主任から歓迎の言葉を贈りました。保護者の皆様、お忙しいところをご出席いただきまして、ありがとうございました。全校の生徒諸君、頑張りましょう。

校長式辞(抜粋)

○本校は昨年度創立六十周年を迎えました。これをバネにしていっそう学校を発展させようと、教職員一同気持ちを新たにしています。本日多くの新入生の入学を得て、大変力強い思いをしています。本校はまだまだ発展途上にあります。2、3年生も含めた、ここにいる皆さんの力で新しい学校の歴史を刻んでいただきたいと思います。

さて、皆さんは高校生活に対して大きな期待を抱いていることが、入学前に皆さんが書いてくれたアンケートなどで伺えました。いくつか紹介します。

「将来、スポーツに関わる仕事がしたいから、スポーツコースに入りたい」「国際について学びたい、グローバルコースに入って留学してみたい」

「文理コースで国公立大学をめざしたい」

「リハビリや福祉に興味があり、福祉大学に行きたい」「助産師になりたいと思い、附属推薦制度で福祉大学看護学部に進学したい」「サッカー部に入って県大会で優勝し、全国大会に出場したい」「野球部に入って甲子園に行きたい。」「全国優勝の実績がある和太鼓部に入りたい」など多くの熱い期待を書いてくれました。私はそれらを決して夢で終わらせるのではなく、一緒に実現させたいと強く思っています。

最近の学校の印象についてある保護者の方は次のように語ってくださいました。「土曜日のPTAの会議、校門を抜けるとサッカーの熱戦、車を降りると駐車場に響き渡る和太鼓の音、見上げると遠くで野球部の掛け声がこだまする。校舎に入ると、廊下ですれ違う生徒の生き生きとしたあいさつ。それぞれの目標に向かって取り組む生徒たちの姿に、いつも元気をもらいます」と。私はそのような光景が今年も続き、この青春の学び舎で汗を流し、自分を鍛え、日々挑戦する三年間であってほしいと願っています。



新入生代表の言葉

～抜粋～

○私は高校生になったら、何事にも負けない精神力を身に付け、積極的にいろいろなことに挑戦していくつもりです。今までは挑戦する機会があっても勇気を出せず、自分自身に言い訳をしてそのチャンスを逃してしまうことが多くありました。それはどこか自分の可能性を自分で狭めているようで、情けないと思うようになりました。結果を求めめるのではなく、挑戦しようとする意志を大切にして生活していこうと思います。また勉学に励み、いい大学に進学できるよう頑張りたいです。そして友達との交流を深め、生涯共に支え合っていけるような関係を築き、充実した高校生活を送りたいと思っています。さらに両親への感謝を忘れることなく、成長した姿が見せられるよう日々努力していきます。(SUさん)

○私の最大の目標は甲子園に出場することです。本気でそう思っています。私は今、中学校の先生から教わった3つのことを思い出しています。一つ目は「生活の中にこそ勝負がある」ということです。プレイの中に日常の生活の様子が現れるのだから、学習や学校生活を充実させることが目標に近づく道だと教わりました。二つ目は「周りの人に応援され、頑張る人を応援できる人になれ」ということです。三つ目は「賞状が出ないところで一番になれ」ということです。例えば「元気のよさや清々しい挨拶は日福が一番だ」そう言われるようなチームを作りたいです。さらにはそう言われるような学校を創っていきたくたいです。(RN君)

今年もフィリピンの姉妹校（Silay Institute）から学長らが来校され、祝辞を述べられました。
その内容を紹介します。

TO ALL THE DIGNITARIES PRESENT TODAY,
Most Respected Officers of the School, Faculty Members,
Students, and guests, good morning.
It's been a year since I stood here in front of you, talking about
my favorite season of all – Spring!
A year ago, I spoke about spring being the harbinger of hope
and a new beginning for all of us.



Today, as I stand here again, I could not help but thank your school, Nihon Fukushi University
Affiliated High School, for giving us our new found knowledge regarding your culture. The past
year of our partnership with you has given us awareness of the intricacies in different literacies.
Inclusive of these are the multicultural experiences and global concepts that had been imbibed
in the minds of our students. The social literacies which we gained from our visits, and the
technological wonders that you have shown us are just few of those literacies which we need
for the advancement of our education. Indeed, we learned a lot.

For this coming season, our hearts are full of hope and gratitude that we may strengthen the
partnership that we had started with you. Our vision of a strong brotherhood and sisterhood
with you upholds the intricate course of education that can be shared in both our campuses.
We may be small, but our dream of building a strong foothold of global education is becoming
a reality with the help of your school. We had started, and we plan to walk farther more with
you, not only in studying culture and the English language together, but in upholding and
embracing global literacies as well.

At this point, let me extend my deepest gratitude for having us here with you on your school
entrance ceremony. My dear students continue soaring high! You've made the right chose
when you chose this school – a school that sees through the needs and dreams of every child.
If it is not too much, I want to invite you all to visit our school, Silay Institute Incorporated.
Small as it may, but it will welcome you with warm hearts and open smiles.
Again, thank you very much and see you in the Philippines!

*今年もフィリピンの英語+環境保護のスタディツアーを実施します。（期間7月20日～30日）予定
保護者向け説明会4月20日（土）学年学級懇談会後